



伝えよう読書のよろこび 広げよう感動の輪



編集・発行 愛媛県読書グループ連絡協議会

祝 野間読書推進賞 特別賞 三島読書グループ連絡協議会



四国中央市内での記念撮影。東京で開催された贈呈式は、感染拡大防止のため出席を辞退しました。

2020年秋、県読連に所属する三島読書グループ連絡協議会（四国中央市・会長森川啓子氏）が、公益社団法人読書推進運動協議会主催の野間読書推進賞 第50回記念特別賞に輝きました。この賞は、地域の読書推進運動に長年貢献し、業績をあげた個人・団体を表彰するものです。

同会は1964年に発足。市文化祭での「民話を語る」会や展示、市内保育所の保護者を対象としたおはなし会などを継続し、読書活動や地域文化の普及に貢献しています。

今後も「言葉の楽しさ、言葉のちから」を伝えるご活躍に期待しています。（事務局）

夢七訓

愛媛県読書グループ連絡協議会
会長 森川 啓子

「夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし」

「夢七訓」は、渋澤栄一翁が座右の銘にした言葉である。若くして明治政府大蔵省に招かれ国家の基盤づくりに関わった渋澤は、後に銀行設立など多くの業績を残し、晩年は教育機関・社会公共事業の支援や民間外交に尽力した。その根本にあったのが、日本全体を良くしたいという「夢」だったのだと思う。

喜寿の時に著した「論語と算盤」に、倫理性と合理性が一体化した理想の社会が語られているが、2024年に1万円札の顔となって、「お金はよく集めて、よく使いなさい」と言うのかもしれない。

「夢七訓」は、「幸福を求める者は夢なかるべからず」と結ばれている。

コロナと県読連

新型コロナに揺れることになった2020年。当会も5月末に開催予定だった読書推進大会の中止、総会の書面開催など、事業に大きな影響が出ました。

「コロナ禍で読書量が増えた」と各調査が明らかにしています。今だからこそできる本との時間を豊かにしたいものです。

（事務局）

「読書会」を してみませんか？

愛媛県読書グループ連絡協議会 顧問
愛媛県立図書館長 願成寺 優

小説の世界で遊ぶ極上の時間

恥ずかしながら、図書館で本を借りて、日常的に読書するという習慣が身に付いたのは、50歳を過ぎてからのことである。仕事に対するスキルを高めることを目的に、情報と知識を手に入れるための雑誌などを読むことはあっても、娯楽としての読書を楽しむ時間を必要としないで生きてきた。誠にもったいない時間の使い方をしてきたと今ではわかる。小説の世界で遊ぶ時間は極上のものだからだ。

「面白くてためになる」これが良書の理想。小説の世界では、作者の想いは虚構として構築され、様々な形に変えられ表現される。波乱万丈のストーリーの中に、心に刺さる言葉や想いが登場人物に託され、次々に現れてくる。お説教はいくら聞かされても効果はないが、面白い話に含まれた教訓は、いつまでも心の中に残るものだ。



胸に刺さった言葉たち

愛媛県立図書館には「読書会協力図書」というサービスがある。グループに同じ本を10冊以内で貸し出すものだ。良書が多い。例えば私は、次のような言葉が胸に刺さった。「多くの人にとっては価値のないものでも、誰かひとりにとってはかけがえのないものになる(『羊と鋼の森』)」「夢は無意識のうちに持つものだけど、希望は、厳しい状況の中で、苦しみながら持つものなんですよ(『希望の地図』)」「人間の特性としての『知能』は突出しているが、他の動物にも多かれ少なかれ知能はある。だが、『月を見ながら物思いにふけるサル』はいるか『風物に心情を重ねて遠吠えするイヌ』はいるかと考えると、やはり『感性』こそが人間の特有の能力だろう(『へたな人生論より徒然草』)」「誰かに教えてもらったなら、発見の喜びは得られない(『恐竜博士の目まぐるしくも愉快的な日常』)」……。



だれかに読まれるその時を待つ本たち

「見方」と「味方」

「読書会」というと堅苦しくなるが、ただ同じ本を読んで、感じたことを言い合うだけでいい。心に残った言葉を発表し合えばそれでいい。感動のツボは人それぞれで違う。それぞれが感じた楽しい時間の流れを共有しよう。読書会は2人でもできる。3人いれば楽しさは3倍になる。何よりも、本を読めば「みかた」が増えるのがうれしい。一つは「見方」。読書によって視点や知恵を獲得できれば、世界を多面的かつ複眼的に見られるようになる。もう一つは「味方」。見方が広がると様々な人との交流が可能となり、他者と世界観を共有できる。他者への共感や信頼は、周囲からの「信任」に発展し、友情や関係が深まる。ぜひ、家族で、仲間で、学校で、一冊の本を読み、「見方」と「味方」を増やしてほしい。

～「県読連」とは～

名称：愛媛県読書グループ連絡協議会
発足：1964年(昭和39年)12月
目的：県内読書グループの提携を図り、読書活動の推進、文化の発展に資すること。
会員：260名(令和元年度末)。県内読書グループに所属する方や読書愛好家。
活動：スローガンは「伝えよう読書のよろこび、広げよう感動の輪」。読書推進大会・講演会などを開催している。
—問合せ—
県読連事務局(愛媛県立図書館内)
〒790-0007 松山市堀之内
TEL 089-941-1441 FAX 089-941-1454